

「健診時間診データにおける抑うつ指標に関連する要因についての観察研究」について

このたび、2021年度から2024年度までの健康診断時に得られたデータを用いて「健診時間診データにおける抑うつ指標に関連する要因についての観察研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、2021年度から2024年度までの学生健診の結果データを解析し、抑うつと関連する要因を抽出し、精神的な面を含めた学生の健康管理に役立てることです。新型コロナウイルスの世界中での流行も下火となりつつあり、学生さんたちの生活スタイルやメンタルヘルスにも変化がみられることが予想されます。こういった変化を把握し調査するために本研究を行うこととなりました。

得られた結果は、教育研究として使用したいと考えています。なお、健診結果等を研究に用いることを希望しない場合、対象者が未成年で代諾者（保護者、ご家族等）が研究にデータを用いることを希望しない場合は、健診結果は研究に用いません。その場合には下記連絡先にご連絡ください。なお論文が投稿された後の撤回については、ご希望に添えない場合があります。

- ・ 研究に用いる試料・情報の種類：学年、在籍年数、所属する学群・学類や研究科・専攻、身長、体重、患者健康質問票（patient health questionnaire-9: PHQ-9）各項目得点、喫煙、運動習慣、飲酒習慣、飲酒習慣スクリーニングテスト（Alcohol Use Disorders Identification Test: AUDIT）、既往歴。
- ・ 研究への参加は自由意思に基づくもので、参加しないことによる不利益はありません。成績にも一切関係しません。
- ・ 研究としてのデータの取り扱いに関して、匿名化したうえで解析に使用します。データ管理用のID番号をふり、学籍番号と切り離して管理します。
- ・ 結果は医学教育専門誌や学会で報告したいと考えていますが、個人が特定されるような形で結果が発表されることは決してありません。
- ・ 研究期間は医の倫理委員会承認後から2026年3月31日までです。
- ・ 解析に使用したデータは研究終了後10年間保存いたします。

これまでの健康診断のデータを生かし、さらなる健康の増進にむけて、詳細な解析を行っていきます。ご理解のほどよろしくお願い致します。

研究責任者所属・氏名 筑波大学医学医療系 精神医学 太田深秀（保健管理センター所長）

研究分担者

筑波大学医学医療系（保健管理センター）・講師 白鳥裕貴

筑波大学医学医療系（保健管理センター）・助教 袖山紀子

筑波大学医学医療系・教授 新井哲明

筑波大学医学医療系・教授 太刀川弘和

情報管理担当

筑波大学医学医療系（保健管理センター）・助教 袖山紀子

問い合わせ先：この調査について何かお知りになりたいことや、疑問点がありましたら、遠慮なくおたずねください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい

調査担当者：太田深秀（医学医療系教授）

連絡先：保健管理センター1階事務室（TEL 029-853-2411）